

ECHO

Vol. 19 第30期 事業報告書
平成16年4月1日～平成17年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長

米田 龍佳

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。ここに、第30期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、『もっと音楽を世に もっとサービスを世に』を社是とし、創業以来カラオケを通じた音楽の楽しさを提供することで着実に業容を拡大してまいりました。

平成17年度は、「業務用カラオケ市場」における優位性を更に高めるとともに、ブロードバンドインフラやエンターテインメントコンテンツの拡大、電子マネー(決済)の急激な普及など、市場環境の醸成を追い風とし、昨年度よりスタートした新ビジネス「ゲートウェイ事業」の結実へ向けた第一歩を踏み出すべくチャレンジを続けてまいります。

また、当社グループはカラオケから総合音楽コンテンツサービスへ、業務用(B to B)ビジネスからロケーションに集まるお客様にアプローチするB to B to CビジネスやB to Cビジネスへと向かうべく、新たなビジネススタイルを常に提案してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第一興商グループ 事業ドメイン

(平成17年3月31日現在)

～カラオケを中心としたエンターテインメントを提供～



- **業務用カラオケ事業**：業務用カラオケ機器・カラオケソフトの販売及び賃貸、並びに通信カラオケへの音源及び映像の提供を行っており、セグメントは業務用カラオケ事業に属しております。
- **カラオケルーム運営事業**：カラオケルーム「ビッグエコー」を国内で208店舗、海外で2店舗展開しており、ルームの運営とともに飲食の提供を行っております。なお、セグメントはカラオケルーム運営事業に属しております。
- **衛星放送事業**：衛星デジタル放送「スカイパーフェクTV!!」をプラットフォームとし、テレビ2ch、ラジオ100chのサービスを行っており、セグメントはコンテンツ事業に属しております。
- **着信メロディー及びインターネット配信事業**：携帯電話向け着信メロディー配信を中心とした様々なコンテンツ配信サービスを行うほか、カラオケのインターネット配信サービスを行っており、セグメントはコンテンツ事業に属しております。
- **音楽ソフト事業**：音楽レコード会社4社及び販売会社1社において音楽、映像ソフトの制作、販売を行っており、セグメントは音楽ソフト事業に属しております。
- **ゲートウェイ事業**：「ブロードバンドサイバーDAM」と情報端末「DAMステーション」の融合によるブロードバンドを活用した双方向サービスの提供などを行っており、セグメントはその他の事業に属しております。
- **その他の事業**：不動産賃貸事業、飲食事業などを行っており、セグメントはその他の事業に属しております。

新たなステージの幕開け — to the next stage —

既存の業務用マーケットに加え、ブロードバンド環境の整備、新端末の積極導入、ウェブサイトの強化などを基に、強力なコンテンツサービスを展開し新たなマーケットを獲得します！

B to B ビジネス 新商品のラインナップ追加でさらなるシェアアップを狙います

業務用カラオケ事業



(DAM-G100F)

業界初！1.2テラバイト以上の記憶容量を搭載可能なオールインワンタイプの通信カラオケシステム



- デザイン : 高級感のあるシャンパンゴールド仕上げ
: 「BB cyber DAM」の機能・大型ディスプレイ、スピーカーを一体化し、デジタルパワーアンプを内蔵したオールインワンシステム
: 奥行き20センチで設置可能なフラットボディ
: DAMステーションを2台収納可能
- ディスプレイ : 45型液晶ディスプレイと42型プラズマディスプレイの2種類を用意
- 総楽曲数 : 約61,000曲 うち生音演奏曲約5,200曲、毎月約1,000曲の大量配信 (2005年4月現在)
- 特長 : 業界初！1.2TB (テラバイト) 以上の記憶容量を搭載可能
- 映像 : 総合エンターテインメント番組「DAMチャンネル」を曲間に配信
: 本人出演映像曲約2,700曲搭載

DAM-G30 Hyper Karaoke System

(DAM-G30M)

コンパクト・高性能・インテリア性を実現したカラオケシステム



- デザイン : シャープな質感と高級感を表現したクロムシルバー仕上げ
: 小さな本体に高性能パワーアンプを内蔵
- 総楽曲数 : 約38,300曲以上 うち外国曲約12,300曲以上、毎月約200曲配信 (2005年4月現在)
- 音質 : 弦楽器や吹奏楽器などの演奏を使った「生音演奏曲」を豊富に搭載



(DAM-DSII)

カラオケをより楽しくするブロードバンド情報端末



- デザイン : 安定性のある自立型
- 機能 : 無線LAN対応により部屋のどこからでも操作可能
: カメラ機能内蔵で画素数を35万から130万画素へ強化
: 歌いたい楽曲のイントロを再生できる「カラオケ試聴」が可能
: USB端子を装備し、携帯音楽プレイヤーなどへ歌ったカラオケをダウンロード可能 (MY Songダウンロード)
- コンテンツ : 従来からある無料の採点・ゲーム・占い、有料のオーディション参加や有名講師に審査してもらえる歌唱検定などに加え、新しいイベントやオーディションなど多彩なコンテンツを提供

※新コンテンツについては次ページ参照



(PM100III-DK)

楽曲検索・予約が可能な電子目次本



- デザイン : 外装をパールピンクにし、より持ちやすい形状に改良
- 操作性 : 従来のデンモク機能をそのままにリモコンスイッチを独立させ操作性を向上
- 耐久性 : 衝撃性・浸水性を強化
- 機能 : 本人出演映像曲・ガイドボーカル対応曲・生音演奏曲の検索が可能
: 日本語だけでなく、韓国語・中国語での検索にも対応

B to B to C ビジネス

カラオケルームなどのロケーションに集まるお客様へ
アプローチするB to B to Cビジネスを本格展開します

ゲートウェイ事業

DAMステーション新コンテンツ紹介

DAMステーション



コンテンツ名	内容	開始時期
オーディション	歌スタ!! オーディション	日本テレビと連動したオーディション
	近未来デビュー計画	ワタナベエンターテインメントが運営する芸能スクールへの特待生を選ぶオーディション
イベント	全日本カラオケグランプリ2005	当社主催による全国規模のカラオケイベント
音楽配信	MY Song ダウンロード	自分の歌ったカラオケをダウンロードできるサービス
着信音	MY着うた・MY着ボイス(仮称)	自分の歌声を録音しオリジナル着信音として携帯電話へダウンロードできるサービス
映像	へんしん! フォトカラオケ	「DAMステーション」のカメラで撮影した写真がカラオケの背景画像になるサービス
	club DAM ビデオ	アーティストのプロモーションビデオやグラビアアイドルの映像が楽しめるサービス

全日本カラオケ グランプリ 2005

当社は、カラオケNo.1を決定する日本最大級のカラオケイベント「全日本カラオケグランプリ2005」を開催いたします。全国7ヶ所で予選会を行い、各地方予選の優勝者は2005年12月11日(日)開催予定の決勝大会へ出場し、著名な審査員のもとグランプリを決定いたします。決勝大会の様子は、全国ネットにて12月にテレビ放映を予定しております。

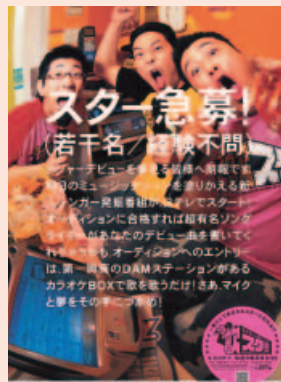


2005年4月1日より地方予選会参加者募集開始

- 応募資格 ①第一興商の「DAMステーション」端末で「club DAM 歌唱検定」を1回でも利用したことがある方
②アマチュアの方(芸能プロダクションに所属していない方に限る)
- 応募期間 : 2005年4月1日~各予選会開催日の1ヶ月前まで
- 大会スケジュール
: 地方予選会
9月3日(土) 福岡 NTT夢天神ホール
9月4日(日) 名古屋 東建ホール・丸の内
9月10日(土) 大阪 朝日生命ホール
9月11日(日) 広島 ゲバントホール
- 決勝大会 : 12月11日(日) 東京 新宿コマ劇場
- 応募方法 ①DAMステーション端末
②インターネット専用ホームページ <http://www.jpkaraokegp.com/>
③募集専用FAX 03-3224-3779 ④郵送(ハガキ)
※上記4通りのお好きな方法で必要事項をご記入の上、ご応募ください。
詳しくは、<http://www.jpkaraokegp.com/>をご覧ください。
- お問合せ先 : 全日本カラオケグランプリ2005事務局
TEL 03-3224-3778 (土・日・祝日を除く10:00~18:00)

第一興商グループ提供番組 4月より放送中

新番組



「歌」と「歌い人」の新たなる出会いをコンセプトに展開される新しい切り口のシンガー発掘番組。番組では、一般から広くメジャーアーティスト候補を募集しております。番組に出演するには、「DAMステーション」からエントリーすることで歌った歌唱データが事務局まで転送され、審査を受けられます。審査に合格すると番組へ出演でき、最終オーディションに合格した人は

有名ソングライターが作曲した曲でデビューの扉が開かれます。オーディション参加者を「DAMステーション」のみの募集とすることで、「DAMステーション」を広くアピールするとともに「DAMステーション」設置店への集客方向上を目指してまいります。

- 司会 : 東野幸治 アンタタッチャブル 白田あさ美
- 放送エリア : 日本テレビ(関東エリア) 毎月曜 24:20~24:50
: よみうりテレビ(関西エリア) 毎火曜 25:28~25:58
: 中京テレビ(中京エリア) 毎金曜 25:50~26:20
: 福岡放送(福岡エリア) 毎月曜 24:20~24:50
: 札幌テレビ(北海道エリア) 毎木曜 25:25~25:55
: ミヤギテレビ(宮城エリア/番販) 毎月曜 24:20~24:50
- 歌スタ公式サイト : DAMステーション設置店舗など詳しくは <http://www.ntv.co.jp/utasta/>をご覧ください。

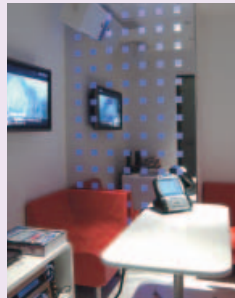
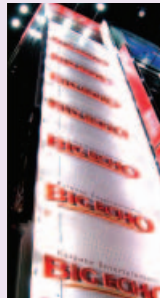
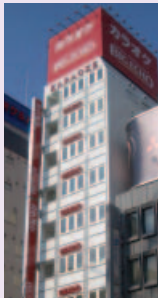
B to C ビジネス

ウェブサイトや携帯電話、店舗を通じてエンドユーザー向けに音楽やサービスを提供するビジネスを展開します

カラオケルーム運営事業

当社グループが運営するカラオケルーム「ビッグエコー」は、国内211店舗、海外で3店舗展開しております。(2005年4月現在) 直営店舗を中心に「ブロードバンドサイバーDAM」と「DAMステーション」を積極的に導入し、ブロードバンドを活用した様々なコンテンツが楽しめるよう努めております。また、4月よりビッグエコー全店でEdyカードでの会計が可能となるほか、内装をグレードアップさせた「スタイリッシュルーム」や「ハローキティルーム」を完備した店舗を展開するなどサービスの向上と雰囲気の良い店舗づくりを目指しております。

※Edyはビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。



ビッグエコー名古屋錦通り店

- オープン日 : 2004年11月26日
- 住所 : 愛知県名古屋市中区錦 3-17-18
- 電話番号 : 052-959-3001
- アクセス : 名古屋市名城線栄駅
- ルーム数 : 100室

ビッグエコー上野広小路店

- オープン日 : 2004年12月15日
- 住所 : 東京都台東区上野 2-6-12
- 電話番号 : 03-5816-5777
- アクセス : JR山手線御徒町駅
- ルーム数 : 73室

コンテンツ事業

パソコン向けウェブサイト「club DAM .com (クラブダム・ドットコム <http://www.clubdam.com>)」をリニューアルし、音楽配信及び音楽CD/DVDなどの通信販売を開始いたしました。また、携帯電話向け着信メロディーサイト「メロDAM」においても音楽CD/DVDなどの通信販売を実施しております。

● 音楽配信

最新楽曲や懐かしい楽曲をダウンロードして購入できます。

配信曲数 : サービス開始時、約20,000曲
配信(順次、追加予定)

取扱いレーベル : 東芝EMI / 日本クラウン / 徳間
ジャパンコミュニケーションズ
/ ガウスエンタテインメント
/ トライエム / インディーズ
レーベル (ダイキサウンド)

※2005年3月現在

● 通信販売

音楽CDやDVDを購入できます。

2005年4月下旬より着信メロディーサイト「メロDAM」でも本格的に展開しております。



《新番組》

徳光&コロッセ名曲の時間です テレビ東京系列 毎月曜22:00~22:54放送中

2005年4月より第一興商グループ提供の新番組「徳光&コロッセ名曲の時間です」を放送しております。(テレビ東京系列6局+フジテレビ系列1局+番販5局+BSジャパン)

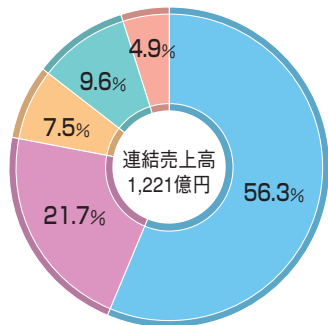
番組では、昭和から平成に至るまでの大ヒットした名曲をゲストの歌声や懐かしい映像とともに振り返ります。当社グループは、番組を通じて企業・事業のアピールを積極的に行ってまいります。



営業の概況（連結）

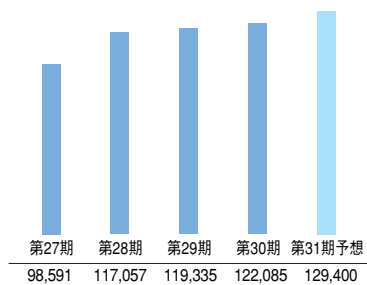
当期の概況

● 連結売上高構成比



- 業務用カラオケ事業
- カラオケルーム運営事業
- コンテンツ事業
- 音楽ソフト事業
- その他の事業

● 連結売上高（単位：百万円）



当期のわが国経済は、前半においては輸出や設備投資が堅調に推移したことから企業収益や雇用環境も改善し景気は着実な回復基調にあったものの、後半においては原油高及び円高の進行により踊り場を迎え景気の先行きは不透明感を残した状況で推移いたしました。

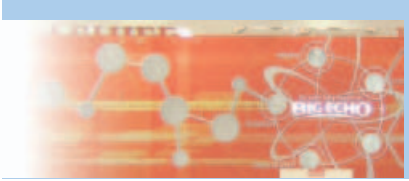
当カラオケ業界におきましては、商品やサービスの低価格化が続くなか、スナック、クラブなどナイト市場の経営環境は総じて厳しく、またカラオケボックスなどのデイ市場におきましても、大手カラオケボックス事業者の出店意欲は旺盛であったものの、夏場のオリンピック観戦や記録的猛暑、相次ぐ台風など天候不順の影響から来店客数の減少もあり一部の事業者においては出店規模や時期を調整する動きも見受けられました。一方、業務用カラオケ市場における通信カラオケ機器は旧機種からブロードバンド対応機種への更新期にあり、メーカーにおいてはこれに対応した新商品の投入も見受けられました。

この様な環境のなか当社グループにおきましては、カラオケ機器の販売及び賃貸に積極的に取り組んだことから通信カラオケの稼働台数シェアも50%を超え、業界におけるトップシェアは確実に拡大してきております。また、主力商品「ブロードバンドサイバーDAM（DAM-G100）」は市場における評価も高く、20万台を超える「DAM」稼働台数のうち当期増加の23,200台を含め約5万台がブロードバンド対応機種に入れ替わるなど旧機種からの更新も順調に推移しております。カラオケルーム「ビッグエコー」におきましては、不採算店舗の閉店を機動的に行うとともに、首都圏及び地方中核都市や地方の主要地域において大型店を中心として20店舗を新規出店し事業規模の拡大を図ってまいりました。

一方、コンテンツ事業におきましては、携帯電話向け着信メモリーサービスの加入者数の推移が軟調ななか、衛星放送事業の業務用サービス契約を順調に増加させ、また、音楽ソフト事業におきましては、業界環境が厳しいなかグループメディアを積極的に活用した効果的な販促活動を展開してまいりました。また、当期より新規ビジネス「ゲートウェイ事業」を開始し、将来のカラオケビジネス環境の変革とカラオケ市場の活性化を図るため、情報端末「DAMステーション」の設置とコンテンツ開発に注力し事業の早期定着を目指してまいりました。

当社グループは、事業を取り巻く急激な環境変化に対応しつつ、「音楽とカラオケとエンターテインメント」が一体となった総合音楽エンターテインメントビジネスの実現のため、これら経営上の諸施策を積極的に推進してまいりました。

以上の通りカラオケ事業を核として積極的に各事業に取り組んだ結果、当期の売上高は122,085百万円（前期比2.3%増）となりました。利益面におきましては、「ビッグエコー」の積極出店による開店費用の増加や新規ビジネスの開始に伴う先行投資負担並びに音楽ソフト事業業績の厳しさはあったものの、業務用カラオケ事業が順調に推移し営業利益は10,383百万円（同20.9%減）、経常利益は9,932百万円（同19.5%減）となりました。一方、特別損失において、減損会計導入を踏まえ土地・建物など有形固定資産の健全化を前倒して進め処分損4,547百万円を計上いたしました。前期計上の過年度役員退職慰労引当金繰入額の負担がなくなったことから、当期純利益5,118百万円（同4.5%増）となりました。



次期の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は底堅く回復基調を維持していくものの、米国、中国を始めとする世界情勢は未だ不安定要素を抱えていることから、先行きへの不透明感は払拭出来ない状況で推移していくものと思われます。

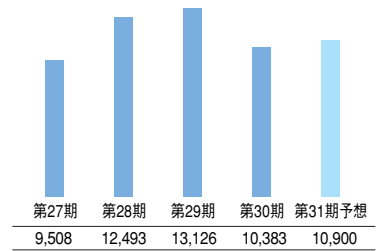
当業界を取り巻く経営環境も依然として厳しいものの、ナイト市場、デイ市場ともに旧機種からの更新期にあり、ブロードバンド対応機種への入替需要は今後更に加速し、併せてこれらブロードバンドの環境が整うことによる様々なコンテンツ供給をはじめとする新たなサービスが展開されることが予想されます。

このような環境のもと当社グループは、今後のカラオケビジネス環境の変革と市場の活性化を図るため、コンテンツの拡充と利便性を向上させた新しい「DAMステーション (DSⅡ)」を積極的に市場へ投入し、併せて効果的な販促及び広告宣伝活動を展開することにより「ゲートウェイ事業」の着実な事業化を目指してまいります。また、業務用カラオケ市場におけるトップシェアを更に拡大させるとともに積極的に市場のブロードバンド化を進め今後のビジネスへ繋げるため、サービスの差別化と品質強化による「DAM」ブランドの一層の価値向上を推進し引き続き意欲的な商品出荷に取り組んでまいります。カラオケルーム運営事業におきましては、店舗の差別化による稼働率アップと投資効率を重視した店舗展開を進めることで利益率の向上を目指してまいります。コンテンツ事業における衛星放送事業につきましては、事業黒字化が定着したことから今後は業績拡大を目指し、またeビジネス事業につきましては、様々な優良かつ効果的なコンテンツサービスを展開するとともに営業費用の圧縮を図ることで収益改善を目指してまいります。

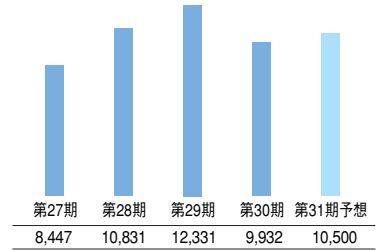
一方、子会社が展開する音楽ソフト事業におきましては、事業効率の改善及び営業力の強化を図るため各子会社の再編を実施するとともに、当社グループのネットワークを活かした新人アーティストの発掘とヒット曲の創造に努めてまいります。

当社及び当社グループは、新規ビジネス「ゲートウェイ事業」の積極的な事業展開に伴う先行投資負担はあるものの、以上の諸施策を確実に実行することによりこれを吸収し次期の業績につきましては売上高1,294億円、経常利益105億円、当期純利益36億円を計画しております。

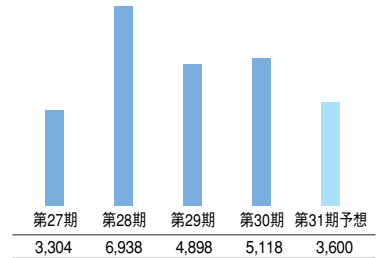
● 連結営業利益 (単位: 百万円)



● 連結経常利益 (単位: 百万円)



● 連結当期純利益 (単位: 百万円)

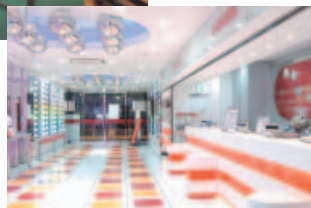
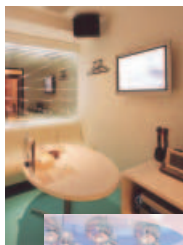


セグメント	業務用カラオケ事業	カラオケルーム運営事業	コンテンツ事業	音楽ソフト事業	その他の事業
売上高 (百万円)	68,678	26,532	9,188	11,672	6,013
営業利益 (百万円)	12,210	769	839	△750	162

BBCyberDAM
f stage



DAMステーション



事業の種類別セグメントの概況は、以下の通りであります。

業務用カラオケ事業

売上高 68,678百万円 (前期比 + 3.3%)
営業利益 12,210百万円 (前期比 +14.3%)

当事業におきましては、市場における商品の低価格化や多機能化が進行するなか、「DAM」ブランドは依然として市場から高い評価を得ており、併せてユーザー密着の充実したアフターメンテナンス体制に注力していることから、主力商品「ブロードバンドサイバーDAM (DAM-G100)」の29,620台を含め36,740台を出荷し、通信カラオケにおける過去最高の年間出荷台数を更新いたしました。また、カラオケ機器賃貸におきましては月額賃貸収入が低下傾向にあるなか着実に5,470件の契約件数を増加させ、販売台数や賃貸件数の増加に伴い通信カラオケ音源・映像等の情報提供契約も16,360件増加いたしました。この結果、通信カラオケにおける市場シェアは50%を超え、当事業の売上高は前期比3.3%増加し、営業利益も前期比14.3%の増加となりました。

カラオケルーム運営事業

売上高 26,532百万円 (前期比 + 5.5%)
営業利益 769百万円 (前期比 △69.2%)

カラオケルーム「ビッグエコー」の運営におきましては、業容拡大のため積極的に多店舗展開を進めてまいりました。当期におきましては、不採算店舗11店を閉店するほか首都圏及び地方中核都市や地方の主要地域において大型店を中心に20店舗を新規出店し当期末現在210店舗（国内208店舗、海外2店舗）、ルーム数では前期末から862ルーム増加の6,224ルームが稼働しております。一方、夏場のオリンピック観戦や記録の猛暑、相次ぐ台風など天候不順の影響や一部地域による競合もあったことから既存店売上高は前期比6.1%の減少となりましたが、全店舗の当事業の売上高は前期比5.5%増加いたしました。一方、積極出店による开店費用の増加や天候不順等の影響また店舗家主の財政状態の悪化に対応した差入保証金に対する貸倒引当金繰入額の増加もあり営業利益は前期比69.2%の減少となりました。

コンテンツ事業

売上高 9,188百万円 (前期比 △11.0%)

営業利益 839百万円 (前期比 △48.9%)

当事業におきましては「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとする衛星放送事業と主に携帯電話向け着信メロディーサービスを行うeビジネス事業を行っております。衛星放送事業におきましては、民生用サービスの契約件数が減少傾向にあるなかこれと同様のコンテンツを業務用にも提供する「スターダム」サービスの契約件数が堅調に伸長し、またコスト削減による収益改善も定着いたしました。一方、eビジネス事業におきましてはサービスの拡充を図り加入者数の維持に努めてまいりましたがその減少は如何ともしがたく、この結果、当事業の売上高は前期比11.0%減少し、営業利益も前期比48.9%の減少となりました。



XODAM

音楽ソフト事業

売上高 11,672百万円 (前期比 △3.5%)

営業利益 △750百万円 (前期増減額 △1,093百万円)

当事業におきましては、依然として業界環境は厳しく音楽CD市場が縮小傾向にあるなか、グループメディアを活用した効果的な販促活動を積極的に推進してまいりましたが、当期においてはヒット作に恵まれなかったことから当事業の売上高は前期比3.5%の減少となり、また売上原価など一時的な営業費用の増加要因もあり営業損失は750百万円となりました。

CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



GAUSS
ENTERTAINMENT

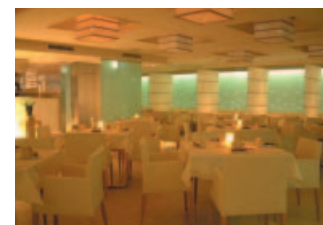


その他の事業

売上高 6,013百万円 (前期比 +14.5%)

営業利益 162百万円 (前期比 △66.5%)

当事業におきましては、飲食事業及び不動産賃貸が主なものでありますが、当期より「ゲートウェイ事業」など新規事業を開始いたしました。この「ゲートウェイ事業」におきましては情報端末「DAMステーション」を積極的に設置するとともに、この端末で提供するコンテンツ開発に注力しサービスの認知度の早期浸透を図ってまいりました。この結果、既存事業である飲食事業及び不動産賃貸がともに増収となったことから当事業の売上高は前期比14.5%の増加となりましたが、新規事業の開始に伴う「DAMステーション」への設備投資や先行投資を積極的に行ったことから営業利益は前期比66.5%の減少となりました。



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第30期	第29期	対前期増減額
	平成17年 3月31日現在	平成16年 3月31日現在	
資産の部			
流 動 資 産	48,913	54,644	△ 5,730
● 固 定 資 産	83,083	83,808	△ 725
有形固定資産	48,252	48,345	△ 93
無形固定資産	8,665	8,950	△ 284
投資その他の資産	26,165	26,513	△ 347
資 産 合 計	131,996	138,453	△ 6,456
負債の部			
● 流 動 負 債	40,914	49,541	△ 8,626
● 固 定 負 債	28,358	27,144	1,213
負 債 合 計	69,272	76,685	△ 7,412
少数株主持分			
少 数 株 主 持 分	528	910	△ 381
資本の部			
資 本 金	12,350	12,349	0
資 本 剰 余 金	24,002	24,001	1
利 益 剰 余 金	30,050	29,716	334
土 地 再 評 価 差 額 金	△ 1,794	△ 5,761	3,966
その他有価証券評価差額金	1,113	1,286	△ 173
為 替 換 算 調 整 勘 定	101	31	70
自 己 株 式	△ 3,629	△ 767	△ 2,861
資 本 合 計	62,194	60,856	1,338
負債、少数株主持分及び資本合計	131,996	138,453	△ 6,456

POINT 流動資産

流動資産の減少5,730百万円は現金及び預金の減少6,185百万円、並びに受取手形及び売掛金の減少1,770百万円が主なものであります。

POINT 固定資産

固定資産の減少725百万円は新規出店によるカラオケルーム設備の増加2,077百万円及び差入敷金・保証金の増加814百万円、並びに建物・構築物・土地の減少3,220百万円が主なものであります。

POINT 流動負債

流動負債の減少8,626百万円は短期借入金の増加1,689百万円及び一年以内償還予定転換社債の減少10,799百万円が主なものであります。

POINT 固定負債

固定負債の増加1,213百万円は長期借入金の増加1,557百万円が主なものであります。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第30期	第29期	対前期比 (%)
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	
営業収益	122,085	119,335	102.3
営業費用	111,903	106,301	105.3
割賦販売未実現利益	202	92	
営業利益	10,383	13,126	79.1
営業外収益	1,743	1,792	
営業外費用	2,195	2,587	
経常利益	9,932	12,331	80.5
特別利益	1,150	426	
特別損失	4,583	4,853	
税金等調整前当期純利益	6,499	7,904	82.2
法人税、住民税及び事業税	1,342	1,975	
法人税等調整額	330	1,021	
少数株主利益	△ 291	8	
当期純利益	5,118	4,898	104.5

POINT 営業損益

カラオケ事業を核として積極的に各事業に取り組んだ結果、営業収益は前期比102.3%となりました。一方、利益面においては「ビッグエコー」の積極出店による開店費用の増加や新規ビジネスの開始に伴う先行投資負担並びに音楽ソフト事業の厳しさにより、営業利益は前期比79.1%となりました。

POINT 当期純利益

特別損失において、減損会計導入を踏まえ土地・建物など有形固定資産の健全化を前倒しで進め処分損4,547百万円を計上いたしました。前記計上の過年度役員退職慰労引当金繰入額の負担がなくなったことから、当期純利益は前期比104.5%となりました。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〈注記事項〉	第30期	第29期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	47,971百万円	49,527百万円
2. 保証債務	919百万円	899百万円
3. 担保提供資産	15,020百万円	16,886百万円
上記に対応する債務	13,487百万円	12,994百万円
4. 1株当たり当期純利益	139円83銭	132円54銭
5. 1株当たり株主資本	1,783円56銭	1,689円46銭

※当社は平成16年5月20日付けで株式分割（1：2）を実施しておりますが、1株当たり指標については比較を容易にするため、前前期首に分割されたものとして記載しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

POINT 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益
6,499百万円
- 減価償却実施額
14,561百万円

POINT 投資活動によるキャッシュ・フロー

- 定期性預金の払戻による収入
8,943百万円
- 有形固定資産の取得による支出
16,071百万円

POINT 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 長期借入による収入
14,576百万円
- 長期借入金の返済による支出
12,159百万円
- 転換社債の償還による支出
9,955百万円
- 自己株式の取得による支出
2,862百万円

科 目	第30期	第29期
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	24,221	27,200
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,999	△26,056
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,106	△ 3,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△ 66
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	2,127	△ 2,530
現金及び現金同等物の期首残高	20,300	22,831
現金及び現金同等物の期末残高	22,428	20,300

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	第30期	第29期
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	24,001	24,000
転換社債の転換	0	0
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金期末残高	24,002	24,001
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	29,716	29,879
利益剰余金増加高		
当期純利益	5,118	4,898
利益剰余金減少高		
配当金	682	683
役員賞与	134	134
土地再評価差額金取崩額	3,966	4,243
計	4,783	5,062
利益剰余金期末残高	30,050	29,716

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 単体決算概要

貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第30期	第29期	対前期増減額
	平成17年 3月31日現在	平成16年 3月31日現在	
資産の部			
流動資産	27,601	33,571	△ 5,969
固定資産	52,510	55,007	△ 2,497
有形固定資産	19,659	20,662	△ 1,003
無形固定資産	8,067	8,437	△ 370
投資その他の資産	24,784	25,907	△ 1,122
資産合計	80,112	88,578	△ 8,466
負債の部			
流動負債	17,667	27,116	△ 9,448
固定負債	11,424	10,647	776
負債合計	29,091	37,763	△ 8,671
資本の部			
資本金	12,350	12,349	0
資本剰余金	24,002	24,001	1
利益剰余金	18,982	19,716	△ 734
土地再評価差額金	△ 1,794	△ 5,761	3,966
その他有価証券評価差額金	1,109	1,277	△ 167
自己株式	△ 3,629	△ 767	△ 2,861
資本合計	51,021	50,815	205
負債・資本合計	80,112	88,578	△ 8,466

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第30期	第29期	対前期比(%)
	平成16年 4月1日から 平成17年 3月31日まで	平成15年 4月1日から 平成16年 3月31日まで	
営業収益	82,862	80,711	102.7
営業費用	76,506	72,666	105.3
割賦販売未実現利益	91	125	
営業利益	6,447	8,170	78.9
営業外収益	1,074	1,049	
営業外費用	1,031	1,688	
経常利益	6,490	7,531	86.2
特別利益	1,164	424	
特別損失	3,308	2,621	
税引前当期純利益	4,345	5,334	81.5
法人税、住民税及び事業税	112	100	
法人税等調整額	294	555	
当期純利益	3,939	4,679	84.2
前期繰越利益	408	679	
土地再評価差額金取崩額	△ 3,966	△ 4,243	
当期末処分利益	380	1,114	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：百万円)

科 目	第30期	第29期
	平成16年 4月1日から 平成17年 3月31日まで	平成15年 4月1日から 平成16年 3月31日まで
当期末処分利益	380	1,114
別途積立金取崩額	2,000	—
合計	2,380	1,114
これを次のとおり処分いたしました。		
利益配当金	1,392 (1株につき40円 [※])	682 (1株につき19円)
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	16 (1)	23 (3)
合計	1,408	706
次期繰越利益	971	408

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〈注記事項〉

	第30期	第29期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	22,058百万円	23,102百万円
2. 1株当たり当期純利益	109円74銭	129円47銭
3. 1株当たり株主資本	1,465円47銭	1,413円14銭

※第30期(平成17年3月期)期末配当金の内訳は、普通配当20円、第30期記念配当20円であり
ます。

なお、当社は平成16年5月20日付で株式分割(1:2)を実施しておりますが、1株当たり
指標については比較を容易にするため、前前期首に分割されたものとして記載しております。

株式の状況

(平成17年3月31日現在)

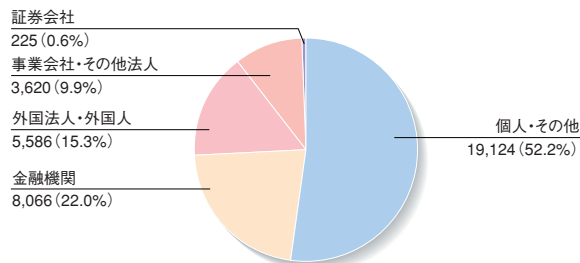
会社が発行する株式の総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 36,621,298株
 株主数 9,623名

大株主

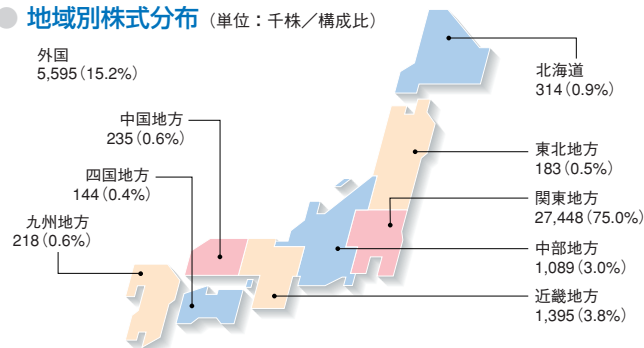
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
保志忠彦	5,222	15.0
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,586	7.4
(有)ホシ・クリエート	2,187	6.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	2,011	5.8
保志忠 郊	1,471	4.2
保志治 紀	1,447	4.1
米田 龍 佳	694	2.0
資産管理サービス信託銀行(株)	629	1.8
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	579	1.6
三菱信託銀行(株)	574	1.6

(注) 当社は、自己株式1,817千株を保有しておりますが、議決権がないため上記株主から除いております。

所有者別株式分布 (単位：千株／構成比)

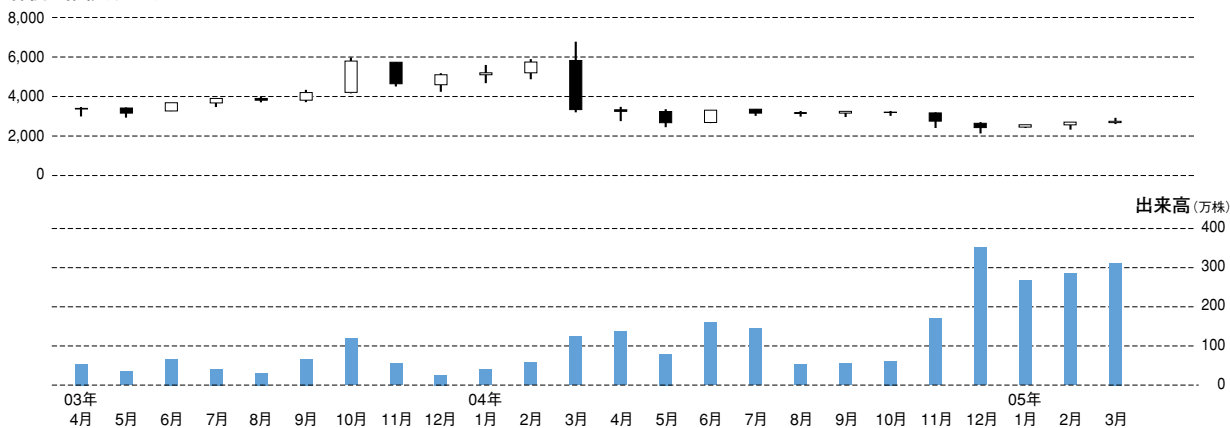


地域別株式分布 (単位：千株／構成比)



株価(月足)チャート

株価の推移 (単位:円)



(注) 平成16年5月20日付けで平成16年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

会社概要

(平成17年3月31日現在)

商号	株式会社 第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 TEL. (03)3280-2151 (大代表)
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,205名 グループ 2,900名
JASDAQ上場	1995年9月19日
ホームページアドレス	http://www.dkkaraoke.co.jp/

役員

(平成17年6月26日現在)

代表取締役社長	米田 龍 佳
常務取締役 兼上席執行役員	林 三 郎
常務取締役 兼上席執行役員	緑川 智 博
常務取締役 兼上席執行役員	畑 英 爾
常務取締役 兼上席執行役員	根本 賢 一
常務取締役 兼上席執行役員	山本 裕 治
取締役 兼執行役員	熊谷 達 也
取締役 兼執行役員	村井 裕 一
取締役 兼執行役員	和田 康 孝
常勤監査役	掛川 洋
常勤監査役	高瀬 信 行
監査役	石川 樹 一
監査役	有 近 真 澄
執行役員	有 馬 伸 治
執行役員	鈴 木 康 之
執行役員	貞 末 俊 一
執行役員	有 馬 修
執行役員	三 宅 彰
執行役員	黒川 憲 太 郎
執行役員	大久保 嘉 英
執行役員	保 志 忠 郊

第一興商グループ 当社及び連結子会社 36 社

(平成17年3月31日現在)

主な事業内容：業務用カラオケ事業／カラオケルーム運営事業／
コンテンツ事業／音楽ソフト事業

■国内販売子会社 21社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)コスモ第一興商
(株)釧路第一興商	(株)台東第一興商	(株)東海第一興商
(株)道南第一興商	(株)城東第一興商	(株)京都第一興商
(株)東北第一興商	(株)第一興商販売	(株)第一興商近畿
(株)常磐第一興商	(株)湘南第一興商	(株)京阪第一興商
(株)群馬第一興商	(株)新潟第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)北関東第一興商	(株)長野第一興商	(株)九州第一興商

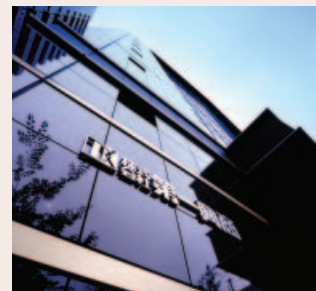
■その他国内子会社 8社

(株)ディーケーファイナンス	(株) ト ラ イ エ ム
(株)ガウスエンタテインメント	(株)ファーストディストリビューション
日本クラウン(株)	(株)ディーケー音楽出版
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	丸 萩 洋 酒 工 業 (株)

■海外子会社 7社

(株)韓国第一興商	Saha Daiichi Kosho Co.,Ltd.
第一興商(上海)電子有限公司	D.K.Enterprises(Guam),Inc.
上海綜藝音楽餐飲有限公司	Daiichi Kosho(Singapore)Pte Ltd.
上海必愛歌音楽餐飲有限公司	

- (注) 1. Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd. は休眠会社であります。
2. 上海必愛歌音楽餐飲有限公司は平成16年4月に新たに設立いたしました。
3. 上海綜藝音楽娛樂有限公司は、平成16年7月に上海綜藝音楽餐飲有限公司に社名を変更しております。
4. 平成17年4月1日付けで、子会社の再編を行い、(株)北東北第一興商、(株)福島第一興商、(株)栃木第一興商、(株)北陸第一興商及び(株)沖縄第一興商を新設するとともに、(株)北関東第一興商は(株)埼玉第一興商に、(株)コスモ第一興商は(株)静岡第一興商に、(株)第一興商販売は(株)城西第一興商にそれぞれ社名を変更しております。



● 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金については3月31日 中間配当金については9月30日（当期は中間配当を実施していません。）
1単元の株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
（郵便物送付先）	三菱信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	電話 0120-707-696（フリーダイヤル）
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
証券・銘柄コード	7458

<お知らせ>

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
 - 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。
 - 決算公告につきましては、日本経済新聞への掲載のほか、当社のホームページ（<http://www.dkkaraoke.co.jp>）でもご覧になれます。
-